

令和2年度 学校経営方針に基づく取組状況について(報告)

高浜市立港小学校長 奥谷 敦子

1 本校の教育目標・経営方針

未来の社会で幸せな生活をし、社会に貢献できる人間の基盤を育成する。

「元気・本気・勇気」をスローガンに、常に向上をめざす教職員集団づくりとともに、安心・安全な学校、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

2 重点目標に対する本年度の取組状況

(1) 子どもを伸ばす教職員集団をつくる	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法で児童の実態を把握している 100% ・子ども一人一人が自己有用感をもてる活動を工夫した 88% ・学校の重点目標を意識して学年・学級経営を行った 94% ・公開授業において、主題研究のテーマを意識して単元構想を考え、授業の工夫・改善に努めた 95% <p>(教職員アンケート)</p>	<p>【井上四雄先生の研修から学んだこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識して子どもの良いところを見る、褒める ・相手の話を肯定的に聞く <p>【休校明けに/この3週間で一番良かった授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読のしかたについての授業。子どもたちに読み方について具体的に挙げさせたら出てくる出てくる。それぞれの読み方を具体的にやってみせた。すると子どもたちは自分で本文を読み始めた。その日から本読みの宿題にも熱心に取り組み、次の授業でも気持ちを込めて読めた。
(2) 健康で元気な身体をつくる子どもを育てる 【にこにこ】	
<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業では、たくさん動いて汗を流している 83% ・30分放課は、外で遊ぶことが多い 75% ・毎日朝ごはんを食べている 96% ・好き嫌いをなく、残さず給食を食べる 84% ・家でも歯磨きをしている 96% <p>(児童アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席率(4~12月) 1.6% ・早寝早起き 72% (保護者アンケート) ・30分放課は子どもと外で遊んでいる 33% <p>(教職員アンケート)</p>
(3) 本気で勉強する子どもを育てる 【わくわく】	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業はわかりやすい 92% ・授業のときに、自分の考えを書いたり話したりする 80% ・理由をつけて自分の考えを発表できる 65% ・授業中に自分の意見を考え直したり、もっと知りたいと思う 82% <p>(児童アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れ、子どもの思考を意識した板書計画を作り、授業を行った 87% ・子どもの考えを引き出したり、子ども同士の意見を聞かせたりする発問を工夫した 83% ・子どもが根拠をもって話し合いができるための工夫をした 87% (教職員アンケート) ・Aさん(勉強が苦手)が「先生、算数のP51はいつやりますか?」と聞いてきた。今日P50をやったのだが、今日の授業がよく分かって楽しかったのでP51をやるのも楽しみだと言っていた。本当に勉強ができない子どもでも、わかれば楽しいし、できればうれしい、もっとやりたい気持ちになると思う。(担任が見つけた子どもの姿)

(4) 勇気ある行動をする子どもを育てる 【きらきら】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活は楽しい 91% ・友達や先生、お客さんに元気よくあいさつしている 83% ・係や当番の仕事をしっかり行っている 97% ・他の学年の子と協力してそうじをしている 95% ・トイレのスリッパをそろえている 86% <p>(児童アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事で子ども一人一人に合った役割や活躍の場を設定した 76% ・係・当番・委員会活動において、子どもが積極的に取り組めるような支援を行った 95% ・子どもと一緒に清掃を行っている 100% <p>(教職員アンケート)</p> <p>・子どもたちが本をそろえたりトイレのスリッパをそろえたりしたとき、手伝ってくれる子がいて、それを帰りの会で「手伝ってくれました」と発表している子がいた。今までは「そろえてくれた人」がきらきらでしたが、「手伝ってくれた人」がきらきらだと考えた子がいた。</p> <p>(担任が見つけた子どもの姿)</p>
(5) 地域から信頼される学校をつくる	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校は安全で落ち着いた環境作りに努めている 91% ・学校からの各種たよりやホームページなどで、学校の情報がよくわかる 86% <p>(保護者アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整え安全面に配慮して指導している 100% ・学級指導を通して、いじめ・不登校・問題行動の予防をしている 100% ・子ども一人一人に合った指導・支援を行っている 100% ・保護者からの連絡や相談に対して、適切に対応している 100% ・地域の行事や会合に参加している 50% ・ホームページ、学年・学級だよりや連絡帳などで学校や子どもたちの様子を保護者へ伝えている 71% <p>(教職員アンケート)</p>
(6) 多忙化解消に向けた取組を推進する	
<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間 月平均80h以上…0人、60h以上…3人 45h未満…16人 平均39.9h ・年休取得状況 年10日以上14人(54%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月、7月の教職員の体調(自己評価) …ほとんどが「疲れ気味」と答えた。 負担に感じていること 授業後の消毒、宿題などのチェック、健康チェックカード等の点検、新指導要領に合わせた教材作り(算数)、コロナに配慮した授業の工夫(音楽等)

3 来年度に向けた課題

- 児童一人一人の実態把握、支援方法の検討とその共有 (チームとして子どもに関わるために)
- 港っ子の良さを生かした「根っこ」づくり (生活・学習・自己受容)
- 子ども同士のつながり、関わりをつくる (with コロナの時代の関係づくり)
- タブレットを活用した取組 (授業、行事、情報共有、連絡等)
- 人材育成 (学校全体で取り組むOJT)